

保護者様

京都市立朱雀第八小学校 校長 米田茂樹

平成19年度 朱八小学校の取組

学校教育目標

今年度、朱八小学校は、以下のことに
努力して取り組んで参ります。

「よく考え、心豊かに、たくましく生きる朱八の子」
- いのち・学び合い・支え合い -

今年度、改めて最も大切にしたいこと。それは・・・

学力向上

です。

- ・一人一人の子ども達を徹底的に大切にし、担任が、保護者と十分話し合いながら、各学年ごとにめざす力（学力）を明らかにし、その学年でつけるべき「学力」を各学年で責任を持ってつけていきます。

本校は、つけるべき「学力」を
こう考えます。

読解力

- ・自ら学ぶ力
- ・筋道を立てて考える力
- ・話し合い、より良い解決を導く力（学び合う力）
- ・更に学びを追求する力

学力

読み・書き・計算で表される
基礎的・基本的な学力

その「学力」を向上させるためにこんなことを考えています。

「学力」向上のための
具体的取組

1. 「学力向上プロジェクト」を組織し、子ども達の学力向上を計画的に進めていきます。その中では、京都市の学力定着調査等の結果を生かし、その学年の児童に十分定着しているとはいえない「学力」に焦点を当てて取り組んでいきます。

2. 担任が、自分の授業力を向上させるための校内研究として、昨年度に引き続き、「読解力」向上をテーマに研究を進めます。そして、授業を充実する中で、将来必要とされる「読解力」の向上をめざします。
3. 基礎・基本の確実な定着と発展学習の充実を図るために、「スキルタイム」の時間に、ドリルに取り組み、「学力」を定着させていきます。
また、学力の基盤を支える「読書力」をつけるために朝の「読書タイム」を引き続き実施し、週に1時間の「読書の時間」を設定します。
4. 高学年（4～6年）では、TT教員や教務主任などが関わって、「習熟の程度に応じた指導」を「算数科」で実施し、基礎・基本の定着を図ります。また、昨年好評だった「サマースクール」を今年度も実施し、3週間にわたって指導を行います。
5. 3年生以上で交換授業を行い、学年の担任同士で教科を交換し、担任の得意教科を生かした授業を行うことで、子ども達の興味・関心を高め、学力をより伸ばします。また、「学年全体の担任」という視点から一致した指導体制を作り、子どもの理解につなげます。
6. もちろん、普段の授業が最重要です。担任は、教材研究などを十分に行い、授業力の向上に努めます。
7. その他、
 - ・ コンピュータ教室の活用（全学年10～20時間程度の活用）
 - ・ 全学年・全教室に設置されたLAN環境を生かした授業の実施
 - ・ 担任の指導内容に沿った自作テストの作成
 - ・ 子ども達のノートなど学習成果物などへの点検と評価を十分に行い、赤ペンやコメントを入れるなど丁寧な指導を徹底します。

取組を実現するため、今年度は以下のような体制を組織しました。

ひまわり・1・2年・・・それぞれの学級で学力向上をめざします。

3年・・・TT指導教員による音楽科の専科制を実施

TT指導教員などの入り込みで支援を行う

4年・・・少人数教育担当教員による学級増（2クラス 3クラス）

習熟の程度に応じた指導（算数）を担当とTT指導教員とで実施

理科、音楽・書写、図工・総合（コンピュータ）で交換授業

5年・・・TT指導教員による音楽科の専科制を実施、体育と家庭科で交換授業

習熟の程度に応じた指導（算数）を担当と教務主任とで実施

6年・・・スクールサポーターによる音楽科支援、体育・理科で交換授業

TT指導教員による家庭科の専科制を実施

習熟の程度に応じた指導（算数）を担当と教務主任とで実施